

企画セッション

2022年7月3日(日)14:30~15:20

(会場:A会場 教室02-B1-02)

テーマ

「情報 I でどんな授業をしていますか？」

～どのような内容、どのように教えるか(教えたか)～」

司会進行:

・稲川 孝司(帝塚山学院大学)

登壇者:

<私立高校>

・米田 謙三(関西学院千里国際中・高等部 教諭)

・長谷川 友彦(近江兄弟社高等学校 教諭)

<公立高校>

・井手 広康(愛知県立小牧高等学校 教諭)

・北野 堅司(大阪府立三国丘高等学校 教諭)

コメンテーター:

・鹿野 利春(京都精華大学 教授)

企画セッション

2022年7月3日(日) 14:30~15:20

「情報Ⅰでどんな授業をしていますか？」
～どのような内容、どのように教えるか(教えたか)～

学習指導要領が改訂され、高等学校においては令和4年度(2022年度)から学年進行で新学習指導要領に基づく授業が始まった。情報科の授業内容は今までの「情報の科学」と「社会と情報」から「情報Ⅰ」と「情報Ⅱ」へと変遷し、情報Ⅰは共通必修科目となり、共通テストでは2025年1月よりプログラミングを含む「情報」の内容が出題される。

また、高等学校学習指導要領解説情報編には教科の目標が次のように記述されている。

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

これらのことを踏まえ、新学習指導要領の下で、情報科の授業でどのような内容をどのように教えるか(教えたか)について議論する。

司会進行：稲川孝司(帝塚山学院大学)

登壇者：

<私立高校>

米田謙三(関西学院千里国際中高等部教諭)

長谷川友彦(近江兄弟社高等学校教諭)

<公立高校>

井手広康(愛知県立小牧高等学校教諭)

北野堅司(大阪府立三国丘高等学校教諭)

コメンテータ：

鹿野利春(京都精華大学教授、大阪芸術大学客員教授)